

第17回 ちゅうでん教育振興助成（平成29年度）

報告書資料 支援 - 37

学校名・団体名	熊本市立託麻東小学校
HPアドレス	http://www.kumamoto-kmm.ed.jp/school/e/takumahigashies/
コース	学校支援
活動・研究 テーマ	緑を愛し自分を愛し地域から愛される 子どもの育成
<p>〈活動・研究の意義、目的〉</p> <p>地域と一体になった学校環境緑化活動の推進をとおり、震災からの復興をめざす。本校の緑化活動は、伝統的に地域の中でも評価され、地域の人々から親しまれてきたが、高学年になるに従って一部に規範意識や自尊感情が低く、建設的な言動ができない児童が見られ始め、中学校の生徒指導面での荒れにつながるという状態が続いており、震災はその傾向を顕著にした。そこで、「自尊感情を高める」という観点から授業をも含めて本校の教育活動全体を見直そうということで「生徒指導」を校内研究のテーマに掲げた。その中で、中学校と伝統である緑化や交流を行い、子どもたちの自尊感情を高め、地域復興へもつなげていきたいと考えた。</p>	

1.活動内容・研究内容

(1) 対象 全児童 963人

(2) 教科 全教科・全領域

(3) 活動及び研究 実施時期

① 緑化推進活動

- 緑化活動(日常活動 縦割班活動 一人一鉢運動(年2回)) 通年
- 地域の敬老会とのチューリップ球根植え交流 12月中旬から下旬
 - ・各町内の敬老会の方々に声をかけ、6回にわたり昼休みに来校していただき、1年生を中心とした低学年の児童と一緒にチューリップの球根植えを実施した。
- 育てた苗の地域の人々へのプレゼント
 - ・自分たちで育てた草花の苗や寄せ植えにしたものを3月上旬にお世話になった地域の方々や以下の施設に届けた。
 - ・ 地域の介護施設へ ② 中学校へ ③ 保育園へ ④ 子ども避難の家へ

② 校内研究(自尊感情を高めるためのグループアプローチ(ソーシャルスキルトレーニングやグループエンカウンター)の研究

- 名城大学教授 曾山和彦氏の著書の輪読 6月上旬から実施
- 先進校や研修センターへの派遣視察
 - 7月末より11月下旬までに曾山教授が講演や指導を行う以下の学校等に職員を2人ずつ派遣し、曾山理論の理解と学校での復講を行い、共有化を図った。
 - ・ 7月24日 大分県立教育センター 校長、教頭
 - ・ 9月13日 愛知県米津市立米津小学校研究視察 研究主任 1年生学年主任
 - ・ 11月6日 愛知県春日井市立西山小学校研究主任 6年学年主任 2年生担任
 - ・ 2月24日 御茶ノ水大学附属小学校視察
 - ・ 2月24日25日 第5回授業UDカレッジ 特別支援学級担任2人
- 週日課の中にグループアプローチの時間を位置づけ「託東タイム」として全校で実践
- 「託東タイム」を授業の中に「たくトーク」として位置づけた主体的・対話的で生徒指導の3領域を意識した授業改善を目指し、6本の研究授業の開催
- 研究実践記録の作成
- 名城大学教授 曾山和彦氏を講師招聘(指導・助言と講話)(12月と3月)

2. 成果及び子どもたちの効果

- 平成29年度の本校の研究実践の取組を実践記録として熊本市教育センター主催の教育論文・教育実践に応募したところ特別賞を受賞した。
- 数回に及ぶ研究視察を通して、全国に曾山教授を要とする人的ネットワークが構築でき、本校職員の大きな刺激と成長につながった。それが、日々子どもへのかかわり方の変容にもつながった。
- 地域の方のご協力も得て実施することができたチューリップの球根植えは、1年生と地域の方々の交流の柱となっており、双方が楽しみにする行事として位置づけられるようになった。
- 学年ごとに自分たちの育てた苗に手紙をつけて、学習でお世話になった地域の方や日ごろ世話になっている「子ども避難の家」などに届け、感謝の気持ちを伝えたことにより地域の方の子どもたちや学校に対する関心が高くなっている。
- 6年生は、自分たちの活動した記録DVDを卒業記念品としてもらうことでこの1年間の自分たちの成長を確認することができた。
- 2学期から「託東タイム」と称し、全学年で一斉にグループアプローチを実施するようになってから特に高学年において子どもたちがお互いのことを尊重しあう傾向が出てきている。
- ほとんどの子どもたちが週に1回行われる「託東タイム」を楽しみにするようになった。
- 全校的な傾向として、あいさつが大変上手になり、地域の方々から褒められることも多くなった。
- 子ども同士の関係が落ち着いてきて友人間のトラブルや悩みで保健室を訪れる子どもが減ってきている。
- 授業改善の一環としてこの「託東タイム」で培ったコミュニケーション力を活用していくことで、新学習指導要領の趣旨にもそった主体的、対話的な深い学びを意識した授業が見られるようになってきた。